

山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

情報誌 Vol. 72

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：令和4年8月23日



一般県道陶湯田線 道路改築事業【新平野橋(仮称)】
市町技術職員の実務研修(長期派遣研修)を終えて
令和4年度研修計画について
研修テキストのダウンロード・動画の閲覧について
センター業務の紹介 ～技術アドバイザー派遣業務～
技術相談について
新任職員紹介

《表紙》一般県道陶湯田線 道路改築事業【新平野橋(仮称)】

一般県道陶湯田線(黒川)道路改築事業について

山口市の平川地区を流れる二級河川九田川を渡り主要県道山口小郡秋穂線へ接続する県道陶湯田線新平野橋(仮称)橋りょう整備工事(上部工)が進められています。

当該事業は、下記の①～③の理由から、安全で円滑な交通の確保を図り、地域の良好な生活環境を確保することを目的に事業が進められています。

- ①道路幅員が狭隘な箇所や線形不良箇所、老朽橋があること
- ②家屋連担のため見通しが悪いこと
- ③通学路であるにもかかわらず歩道がないこと

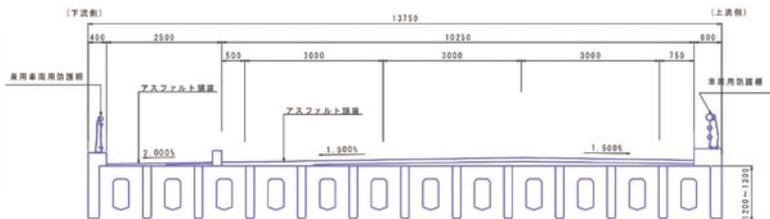
なお、(一財)山口県建設技術センターでは、新平野橋(仮称)の上部工の設計図書作成業務に携わり支援させていただきました。

新平野橋(仮称)

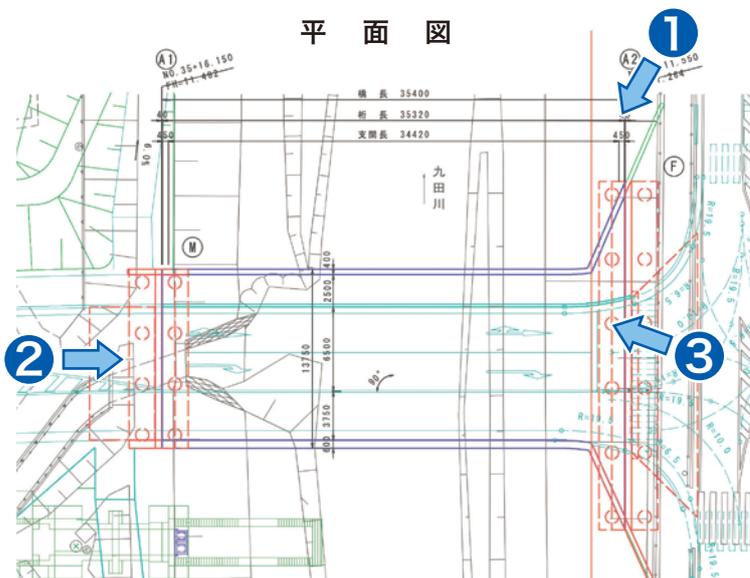
構造形式：PC 単純ポストテンションホロー桁橋
 長：35.4m
 有効幅員：10.25m(車道) + 2.5m(歩道)



断面図



平面図



① 令和4年6月



② 令和4年6月



③ 令和4年6月

市町技術職員の実務研修(長期派遣研修)を終えて

光市役所環境部下水道課 國弘 栄司



私は令和2年度、令和3年度の2年間、光市から山口県建設技術センター(以下「センター」という。)に派遣され、技術課で勤務させていただきました。

センターでは、橋梁の新設工事や鋼橋の補修工事、電気・機械設備工事のほか、上水道の推進工事、林道の開設工事などの様々な設計図書の作成業務をはじめ、橋梁設計等の調査設計管理業務や、下水道等のマニュアル作成業務など、多種多様な業務を経験させていただきました。

これらいずれの業務についても、私個人の知見や技術力では遂行困難なものであり、時に自分の無力さに心労が絶えない日々もありましたが、分からないことは何でも相談できるセンターの職場の雰囲気と、初歩的なことからレクチャーしてくれ、また共に考えてくれる職場の上司や同僚のサポートといった環境に助けられ、何とか業務を履行しながら、その過程で様々な知識を得て、知見を広めることができました。

また、これらの知識の習得以上に、センターでの各種の



業務を通じて、建設事業に携わる多くの技術者の方々や、県及び市町の職員の方々と共にお仕事ができたことは、私にとってかけがえのない財産です。

最後になりますが、この場をお借りして、私個人の経験や知識の不足により、県や市町のご担当者の皆様にご迷惑をおかけすることがありましたことをお詫び申し上げますとともに、派遣期間中に私を支えてくださいました全ての方々へ心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

周南市役所建設部道路課 寺本 嵩史



私は周南市から山口県建設技術センター(以下センター)へ派遣研修として、令和2・3年度の2年間程勤務させていただきました。

センターでは主に設計図書作成業務、調査設計管理業務に携わり、市の業務では関わる機会が少ない橋梁、電気等の工種を経験することができました。

最初は、経験年数の少ない技師枠でセンター派遣を受けることは不安でしたが、心優しい上司・同僚の皆様のおかげで、何とか2年間をやり切ることができました。

また、各業務において、県や市町の皆様へアドバイスをする立場にありながら、経験・知識不足でご迷惑をおかけしたことが多々ありました。ただ、問題解決に当たり、様々な人に助けていただいたり、参考文献等を読んで理解を深められたことは、良い経験になりました。

2年間の研修期間を終えて、業務で得た経験や知識は大きな財産となりましたが、一番の財産は2年間で様々な

方に出会えたこと、素晴らしい上司・同僚と仕事ができただことだと思います。

最後に様々なご指導、ご協力を頂いたセンターの皆様、業務を通してお付き合いをさせていただいた県、市町の皆様、私を研修に出していただいた周南市に感謝いたします。今後は派遣研修で得た経験や知識を生かして周南市に貢献していきたいと思っています。



令和4年度研修計画について

(一財)山口県建設技術センターで実施する研修について、今年度計画のご案内をします。当センターでは、「毎年実施するもの」と「2年に1回実施するもの」の2種類のサイクルで研修を実施しており、今年度は以下の全23課程を予定しています。研修に参加しやすい取り組みとして、部分受講の拡大やWeb研修の開催を計画していますので、奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

日程については変更になることがありますので、所属への案内文やセンターHPにより最新情報を確認してください。

また、研修に参加される際は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温、マスク着用や手指消毒のご協力をよろしくお願いいたします。なお、発熱や体調不良の方は受講を控えていただきますようお願いいたします。

令和4年度 研修計画総括表

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者
職務基礎研修 (5課程)	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え ・設計書の構成と歩掛表の見方(工事) ・設計書の作成演習(工事) ・土木事業と工事監督	新規採用 土木職員等
	新任者(後期)	・業務成績評定制度 ・地質調査について ・施工管理と工事検査 ・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託) ・設計書の作成演習(業務委託)	
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ ・災害復旧事業の計画と演習 ・災害現場測量実習 ・査定設計書作成演習 ・査定の実地演習	
	積算システム	・土木積算システム演習 ・設計書の作成演習	
	CAD	・電子データ活用の取組 ・CADの概要 ・CADの操作演習(初級、中級)	
実務能力研修 (11課程)	設計積算	・積算概論 ・設計積算の留意点 ・土木積算演習 ・小構造物設計演習 ・積算書作成ミス想定事例	経験5年程度 の職員等
	道路実務	・道路法 ・道路事業の流れ ・道路構造令等の解説 ・道路事業の実施 ・縦横断設計演習	
	下水道実務	・下水道事業の概要 ・下水道の基本計画 ・下水道管渠の設計 ・下水道の維持管理 ・各種管渠工法 ・工法演習	
	港湾実務	・港湾海岸事業の概要 ・事業執行の留意点 ・津波対策 ・港湾関係基本法令 ・港湾海岸施設の維持管理 ・港湾関係災害復旧事業 ・設計演習	
	施工管理実務(前期)	・施工計画 ・品質管理 ・施工管理 ・写真管理 ・工事現場の安全確保 ・工事監督の留意事項	
	施工管理実務(後期)①②	・工事関係書類の作成マニュアル ・現場実習	
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ ・契約・決算事務の流れ ・社会資本整備総合交付金の制度 ・土木関係法令の基礎 ・建設業法 ・廃棄物処理法 ・会計検査の動向 ・土地収用法概略	
	測量・土質地質調査	・測量事務の流れ ・測量技術の紹介 ・土質・地質調査の種類と方法 ・土質・地質調査の計画、調査方法 ・土質地質調査の事例紹介と調査計画演習	
	検査実務	・検査(工事・業務委託) ・成績評定制度(工事・業務委託) ・模擬工事検査	
建築工事監理	・公共建築とは ・公共建築工事の発注者の役割等 ・公共建築工事標準仕様書 ・公共建築工事監理指針等及び工事監理 ・公共建築工事の完成検査等	県・市町の土木職員等	
転勤対象者技術	・設計・契約変更ガイドライン ・建設業法に基づく適正な施工体制 ・入札・契約制度の改正 ・設計書作成の留意点 ・総合評価入札方式	県の土木職員等	
専門能力研修 (5課程)	道路施設設計	・舗装設計 ・舗装設計演習 ・歩道の構造とバリアフリー ・自転車通行環境整備 ・交通事故対策の立案と設計 ・道路附属施設的设计演習	経験10年程度 の職員等
	斜面対策	・法面対策工の選定 ・安定解析の種類と選択 ・アンカーの設計施工 ・法面工の設計 ・緑化工法	
	仮設工設計	・仮設工設計概論 ・仮設工の設計及び演習 ・土留工、仮締切工の設計	
	地盤対策	・地盤改良工法の概要 ・地盤改良設計 ・軟弱地盤の概要 ・設計演習 ・杭基礎の種類及び選定 ・杭の安定計算 ・耐震設計	
	現場研修	・現場施工法 ・現場管理の実際 ・現場施工事例 ・事例研究	
管理能力研修 (2課程)	積算技術	・設計・契約変更等ガイドライン ・設計書作成の留意点とヒヤリ/ハット事例	経験が20年程度かつ 若手職員へ指導・監督 を行う職員等
	土木事業マネジメント	・建設業法等の土木関係法令 ・公共工事の品質確保 ・防災危機管理 ・会計検査 ・公共工事の労働災害防止	

※研修対象者の経験年数については目安であり、受講資格を限定するものではありません。

令和4年度 研修実施日程表(8月以降)

※研修会場:セミナーパークほか

月	研修項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
8	(実務)道路実務			●	●		土曜日	日曜日				山の日		土曜日	日曜日							土曜日	日曜日			●	●		土曜日	日曜日								
	(実務) 予算法令実務																										●	●										
9	(実務) 建築工事監理	●																																				
	(専門) 道路施設設計			土曜日	日曜日				●	●		土曜日	日曜日																									
	(実務) 下水道実務			土曜日	日曜日											●	●																					
	(実務) 測量・土質地質調査			日曜日	日曜日																																	
10	(実務) 施工管理実務(後期①)	土曜日	日曜日																																			
	(実務) 施工管理実務(後期②)				●																																	
	(管理) 土木事業マネジメント											スポーツの日					土曜日	日曜日																				
11	(基礎) 新任者(後期)																																					
	(実務) 検査実務			文化の日			土曜日	日曜日																														
12	(専門) 現場研修	●																																				
	(専門) 仮設工設計			土曜日	日曜日																																	

※日程は、変更になることがあります。(最新日程はセンターHPをご覧ください)

研修テキストのダウンロード・動画の閲覧について

当センターが実施した研修について、今年度実施済みの研修、及び前年度実施分のテキストについては、建設技術センターのHP（県・市町職員限定ページ）で公開しています。またweb研修を開催した研修については、動画を閲覧することが可能ですので、是非ご活用ください。

なお、テキストには著作権が含まれるため、研修目的での複製以外は慎んでいただきますようお願い致します。また、講師や関係機関との調整により、全てのテキストが掲載されたものではないことを申し添えます。

1 センターHPにアクセスし 県・市町限定ページにログイン



ID・パスワードは各職場でご確認ください。
※不明な場合は、センターまでお問い合わせください。

「限定ページログイン」をクリックしてID・パスワードを入力

2 令和4年度研修案内をクリック



「令和4年度研修案内」をクリック

3 研修テキストの閲覧



過年度研修はこちらをクリック

「テキストダウンロード」をクリック

4 研修動画の閲覧



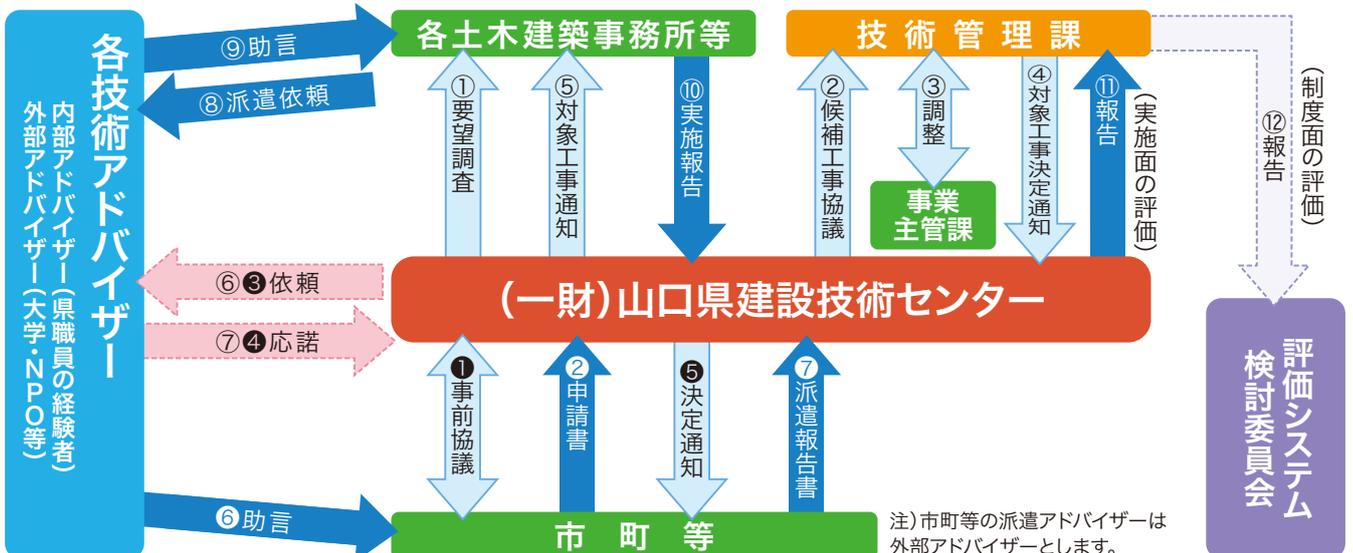
「ライブ配信動画」をクリック

閲覧したい動画をクリック

センター業務の紹介について ～技術アドバイザー派遣業務～

(一財)山口県建設技術センターでは、高度化する発注者の責務を果たすため、技術的経験の伝承が困難な以下の8工種について、担当者に助言及び支援を行う「技術アドバイザー派遣業務」を実施しています。従来は県事業のみを対象としていましたが、平成22年度からは市町事業に対しても試行実施しています。事業の課題に対して、大学等による専門的な知見を得られる制度であり、アドバイザー等の現場派遣に係る経費(旅費、謝金等)はセンターが負担します。令和3年度の実績は県が6事業、市町が3事業となっています。年度途中の依頼も随時受け付けていますので、積極的な活用をご検討ください。

※8工種【橋梁、トンネル、地盤基礎、下水処理、建設環境、法面・斜面、ダム、コンクリート】



技術相談について

建設技術センターでは、建設技術に関する様々なご相談を受け付けています。軽微な相談は原則無料ですので、疑問が生じましたらお気軽にお問合せいただければと思います。

例えば以下のような疑問点など



- 設計成果を基準に照らしてチェックしたい。
- 各種の構造計算が適用基準に適合しているかどうか知りたい。



- 積算の考え方や事例などが知りたい。
- 山口県土木積算システムについて質問したい。



- 関係する管理者（道路や河川など）との協議を円滑にしたい。



- 当センターが実施する技術研修について、質問や要望をしたい。



- 施工可能で経済的な設計成果かどうか精査したい。



- 適切に現場を管理したい。

新任職員紹介 ～よろしくお願ひします～

事務局 長



森重 孝之

皆様のお役に立てる建設技術センターを目指し頑張っております。気軽にご意見などお寄せください。よろしくお願ひします。

業務部・技術部



松村 和紀
業務部長兼技術部長
兼工事管理部長

発注者の支援といった建設技術センターの基本的役割を再認識し、良質な社会資本整備の構築に繋がるよう、これまでの経験を活かしてがんばって参ります。



技術部



和田 正寛 主任

自己研鑽を怠らず日々勉強し、皆様の業務が円滑に進むように努力するとともに、皆様から信頼される職員を目指します。どうぞよろしくお願ひします。

技術部



草園 大樹 主任技師

まだまだ未熟ですが、皆様の業務が円滑に進むよう努力していきます。よろしくお願ひします。

技術部



武居 純也 主任技師

皆様の業務が円滑かつ効率的に進むよう、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひします。

編集後記

皆さんの職場ではコロナ禍を契機としてデジタル化が大きく進み、働き方が多様化されていることかと思ひます。当センターにおいても、端末等の機器が整ってきており、在宅勤務やWeb会議を積極的に活用しています。研修についてもweb研修を開催していますが、現状はこれまでの集合研修をwebで流している状況で、受講者が集中力を維持するには様々な工夫が必要であることを実感しています。集合研修とweb研修の両輪で、参加しやすく、かつ成果も落とさない研修を目指し、試行錯誤しているところですので、研修時のアンケート等で皆さんの率直なご意見を寄せて頂きたいと思ひます。

【Eメール】 info@yama-ctc.or.jp

【ホームページ】 <https://www.yama-ctc.or.jp>

〒753-0077 山口県熊野町1番10号
ニューメディアプラザ山口ビル(NPYビル)10階
一般財団法人 山口県建設技術センター
情報誌編集委員会 宛
[TEL] 083-920-1233
[FAX] 083-920-1288